

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより平成25年2月4日発行



2月の主な行事予定

1月21日(月)～2月27日(水)

平成24年度社会教育主事講習[B](まなびタウンとうはく 他)

2月12日(火)

学校支援ボランティア研修会(中部総合事務所 講堂)

子ども公民館まつり

北栄町中央公民館大栄分館の大人も子どもも楽しむ公民館まつり

平成25年1月27日(日)北栄町中央公民館大栄分館において「子ども公民館まつり」が開催されました。

子ども公民館まつりは、「公民館まつりは、大人中心の発表、展示となっている。放課後子ども教室や公民館講座などで子どもに関わっている方と一緒に子ども中心の公民館まつりを開催したい。」という声を受け、昨年度からスタートしたものです。



体験コーナーでは、プラ板づくりやマイ鉛筆づくり、写真立てづくりなどのワークショップ。作品展示では、ちぎり絵、切り絵、流木工作、書き初め等「子ども北栄塾」で作成した作品が展示されていました。最後に4m以上の長い巻き寿司をみんなで作って食べました。

地域の大人が、学んだことを子どもたちに教えることは大切なことです。子どもの学びの成果や大人が指導する姿を「まつり」という形で見えるようにすることは、地域に良い波及効果をもたらすと思います。



書道教室の先生の指導で書き初め



ちぎり絵教室で学んだ方に教わった作品



写真立てづくりは、大人気でした

全県の社会教育担当者が大集合 社会教育の発展に向けてチャレンジ

第7回中部地区社会教育担当者会を平成25年1月18日（金）に三朝町役場で、東部地区と西部地区の担当者を招いて開催しました。

中部地区には、社会教育と社会体育、人権・同和教育の3つの社会教育関連担当者会があり、それぞれの担当者が、情報交換したり、研修を行ったり、課題解決に向けた協議を行っています。

はじめに中部地区担当者会の運営方法や協議の内容、研修テーマを会長である琴浦町教育委員会の浜川明さんに実践発表していただき、東部地区や西部地区における担当者会の運営方法や研修テーマについて意見交換をしました。



アイスブレイク番手は岩美町。最初からみんな笑顔。

また、各市町村が1つずつアイスブレイクを持ち寄り、実際に体験する研修も行い、15種類のアイスブレイクが披露されました。

社会教育担当者がアイスブレイクで、しっかりと打ち解けたこともあり、来年度は、西部地区で全県の社会教育担当者会が開催される予定となりました。



ちゅうぶくん



【あしがき】

子ども公民館まつりも、作品を再度出してもらうことが、大変との職員の言葉を聞き、大人の公民館まつりとその点は同じだと思いました。

また、担当者会の盛り上がりはすばらしく、数々のアイスブレイクの「技」のキレに唖ってしまいました。(大本)

中部教育局 社会教育担当

電話 0858 (23) 3253

FAX 0858 (23) 5203

E-mail daimotoy@pref.tottori.jp